

活用場面

B I ・ C I

スピーチの学習において、児童が自分自身の話す様子を動画で撮影し、モニタリングする

活用したソフトや機能：画面録画機能

学 年：小学校第5学年 教科：国語

単 元 名：提案しよう、言葉とわたしたち

○ 本時について(6/7)



(1)ねらい

・サンプルスピーチを比較することを通して、聞き手をより説得するためには、資料を適切な場面で提示し、工夫して説明するとよいことに気づき、自分の伝えたいことを伝えるために、意図を持って資料を適切な場面で提示し、ポインティング機能を使ったり拡大したりしながらスピーチ練習をすることができる。

(2)評価規準

・話し手の意図をはっきりとさせ、資料を指し示したり拡大したりしながら、スピーチ練習をしている。【思考・判断・表現】

(3)学習展開

過程	学習活動	ICT活用場面
導入	1 単元を貫く課題と本時の位置を確認する。 2 サンプルスピーチ①と、サンプルスピーチ②の映像を見る。 3 学習課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料を効果的に使うポイントを見つけ、説得力のあるスピーチの練習をしよう。</div>	・自分のスピーチを ICT 端末で録画し、再生して改善個所を探し、練習を繰り返す。 
展開	4 サンプルスピーチ②の映像を見て、サンプルスピーチ②のよさを考え、ポイントをまとめる。(個→全体) ・自分が伝えたい理由に合うところで資料に注目させると、聞き手が分かりやすい。 5 スピーチ練習をする。 ・僕は、「ありがとう」と言われると嬉しい人がたくさんいるというアンケート結果に注目してほしいです。だから、グラフの部分を拡大し、指し示しながら話します。	・スピーチをグループや全体で交流し、改善点を見つけて助言し合ったり、よさを学び合ったりする。 
終末	6 本時を振り返り、次時への課題をもつ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">スピーチをするときに、理由に合うところで資料に注目させるポインティングをすると、より説得できるとわかった。</div>	

活用の際のワンポイント！

- 画面録画したスピーチのデータを再生することによって、児童が自分自身の話す様子をモニタリングし、振り返ることができます。
- 個別最適な学びや協働的な学びの中で、自分のスピーチの改善点を検討する学習活動を位置付けていくことが大切です。

実践提供校：多治見市立昭和小学校